

消防団の沿革

- 昭和22年 4月 勅令第15号消防団令公布により警防団を解散。小牧町消防団、味岡村消防団、篠岡村消防団、北里村消防団として発足する。
- 昭和30年 1月 小牧町、味岡村、篠岡村が合併、市制を施行し小牧市となる。町村単位の消防団も合併、33分団となり、団員1,485人を擁した。
- 8月 三輪消防ポンプ自動車3台購入、村中、味岡、篠岡地区に配備する。
- 昭和31年 4月 市制が施行されて第1回消防出初式が小牧中学校校庭で行われた。旧町村単位の3消防団を解体統合し、小牧市消防団に改名。消防事務を市役所総務課で扱う。10分団317人に改組する。
- 昭和34年 4月 消防施設の整備拡充と機動力の増強にともない、消防団員を213人とした。
- 昭和35年 8月 第5回県下消防ポンプ操法大会三輪消防ポンプ自動車の部に尾張地区代表として、第4分団が出場し優勝する。
- 10月 消防ポンプ自動車を購入し、第2分団に配備する。
- 昭和37年 11月 消防ポンプ自動車2台を購入し、第1分団、第3分団に配備する。
- 昭和38年 9月 小牧市と北里村が合併し、12分団に改組。消防団員は275人となる。
- 12月 消防ポンプ自動車を購入し、第4分団に配備する。
- 昭和39年 4月 第1分団車庫を改築し、消防本部及び署が発足。消防団は12分団編成を6分団とし、団員122人に改組する。
- 8月 消防署の消防ポンプ自動車を、第5分団に配備する。
- 昭和46年 9月 第2分団の消防ポンプ自動車を更新する。
- 昭和47年 9月 第6分団の消防ポンプ自動車を更新する。
- 昭和51年 3月 第3分団の消防ポンプ自動車を更新する。
- 昭和52年 3月 火災発生時の消防職団員の招集及び市民への周知徹底を図るため市内5ヶ所に無線サイレン制御の受信装置を設置する。
- 10月 第4分団の消防ポンプ自動車を更新する。
- 昭和53年 11月 第5分団の消防ポンプ自動車を更新する。
- 昭和54年 8月 第23回愛知県消防ポンプ操法大会、ポンプ車の部で第3分団が準優勝する。
- 昭和59年 7月 第29回愛知県消防操法大会が小牧市第1スポーツ広場で開催され、共催する。
- 昭和60年 11月 第3分団車庫を久保新町地内に移設新築する。
- 昭和61年 8月 消防署東支署建設に伴い、第4分団車庫を篠岡二丁目地内に移設新築する。
- 平成 3年 9月 北里市民センターの建設に伴い、第6分団車庫を北里保育園隣に移設新築する。
- 平成 4年 3月 第1分団車庫をひがし児童遊園内に移設新築する。
- 平成 5年 11月 自治体消防45周年記念式典に参加（東京ドーム）する。
第2分団車庫を村中地内に移設新築する。
- 平成 6年 12月 第5分団車庫を新築する。

- 平成 7年11月 第4分団車庫を改築する。
- 平成10年 3月 自治体消防50周年記念式典に参加（日本武道館）する。
4月 消防団活動の充実を図るため副団長1人増員する。
- 平成11年 4月 消防団活性化事業の一環としてラッパ隊を結成する。
11月 愛知県知事表彰（表彰旗）を受賞する。
愛知県消防協会より特別功績旗を受賞する。
- 平成12年11月 水防功労者建設大臣表彰を受賞（東海豪雨での功績）する。
愛知県知事感謝状を受賞（東海豪雨での功績）する。
- 平成13年 9月 防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞（東海豪雨での功績）する。
- 平成15年11月 自治体消防55周年記念式典に参加（東京ドーム）する。
12月 第2分団の消防車両をCD-I型に更新する。
- 平成16年11月 第6分団の消防車両をCD-I型に更新する。
愛知県消防協会から功績旗を受賞する。
- 平成18年 3月 第1分団の消防車両をCD-I型に更新する。
- 平成19年 2月 第6分団車庫を新築する。
- 平成19年 3月 第3分団の消防車両をCD-I型に更新する。
12月 第3分団車庫を新築する。
- 平成20年 3月 自治体消防60周年記念式典に参加（日本武道館）する。
第4分団の消防車両をCD-I型に更新する。
- 平成21年 3月 第5分団の消防車両をCD-I型に更新する。
- 平成22年 9月 消防団旗を新調する。
- 平成22年11月 第1分団車庫を応時地内に移設新築する。
- 平成25年11月 消防団120年・自治体消防65周年記念式典に参加（東京ドーム）する。
- 平成26年 8月 第59回愛知県消防操法大会が小牧市総合運動場で開催され、共催する。
- 平成27年 2月 消防庁長官より総務省消防庁消防団等地域活動表彰を受賞する。
消防功労者として消防庁長官より竿頭綬を受賞する。
- 平成27年 6月 小牧市消防団応援事業所制度を施行する。
- 平成29年 4月 消防団活動の充実を図るため定員を139人とし、女性消防団員（16人）が入団する。
- 平成30年 3月 自治体消防70周年記念式典に参加（両国国技館）する。
- 平成30年11月 消防団力の充実強化での功績として愛知県知事より竿頭綬を受賞する。
- 令和 2年10月 小牧市消防団協力事業所表示制度を施行する。
- 令和 4年 4月 出動手当としての出動費用弁償を出動報酬に改める。

消 防 団 員 現 勢

(令和4年4月1日現在)

階級 区分	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計 (人)	139	1	2	6	6	13	20	91
総 括 (人)	3	1	2					
本 部 (人)	16					1	2	13
第1分団 (人)	20			1	1	2	3	13
第2分団 (人)	20			1	1	2	3	13
第3分団 (人)	20			1	1	2	3	13
第4分団 (人)	20			1	1	2	3	13
第5分団 (人)	20			1	1	2	3	13
第6分団 (人)	20			1	1	2	3	13

※本部の16人は女性

消 防 団 員 報 酬

(令和4年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年額報酬 (円)	187,000	141,000	95,000	58,000	43,000	40,000	39,000
出動報酬	出動 日額 (4時間以内の場合) 4,000円 (4時間を超える場合) 8,000円 訓練、警戒、防火・防災の啓発活動等 日額 2,000円						

消 防 団 員 出 動 状 況

(令和3年度)

区分	計	出 動	訓練、警戒、防火・防災の啓発活動等		
			訓 練	警 戒	啓発活動
出動回数(回)	177	3	168	4	2
延べ人員(人)	1,896	80	1,569	232	15

消防団員勤続年数

(令和4年4月1日現在)

階級別 年数別	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
5 年 未 満 (人)	27 (4)						2	25 (4)
5年以上10年未満(人)	45 (12)					2 (1)	8 (2)	35 (9)
10年以上15年未満(人)	25			1	3	4	7	10
15年以上20年未満(人)	18		1	2	2	5	3	5
20年以上25年未満(人)	16		1	1		1		13
25年以上(人)	8	1		2	1	1		3
合 計 (人)	139 (16)	1	2	6	6	13 (1)	20 (2)	91 (13)
平 均 (年)	10.8 (3.8)	34.0	19.5	20	15.8	14.8 (5)	9.7 (5)	9.1 (3.5)

※ () 内は女性消防団員の数値

年齢別階級別消防団員数

(令和4年4月1日現在)

階級別 年齢別	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
18 歳 ~ 19 歳 (人)	1							1
20 歳 ~ 24 歳 (人)	4							4
25 歳 ~ 29 歳 (人)	9						4	5
30 歳 ~ 34 歳 (人)	15					1	4	10
35 歳 ~ 39 歳 (人)	26 (1)			1	1	4	4	16 (1)
40 歳 ~ 44 歳 (人)	29 (1)			1	1	3	5	19 (1)
45 歳 ~ 49 歳 (人)	16 (1)			2	1	2	2 (1)	9
50 歳 ~ 54 歳 (人)	24 (5)			2	3			19 (5)
55 歳 ~ 59 歳 (人)	8 (3)		2			2		4 (3)
60 歳 以 上 (人)	7 (5)	1				1 (1)	1 (1)	4 (3)
合 計 (人)	139 (16)	1	2	6	6	13 (1)	20 (2)	91 (13)
平 均 (歳)	42.8 (57.3)	71.0	55.0	46.3	46.8	44.8 (72.0)	37.7 (57.0)	42.6 (56.2)

※ () 内は女性消防団員の数値

職業別消防団員数

(令和4年4月1日現在)(人)

区分		合計	農 林 漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	ガ ス ・ 電 気 ・ 水 道 業	給 熱 ・ 供 給 業	運 輸 ・ 通 信 業	飲 食 ・ 小 売 業	卸 売 ・ 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務 員	特 殊 法 人 等 公 務 員 に 準 ず る 職 員	日 本 郵 政 グ ル ー プ	分 類 不 能 の 産 業	そ の 他
合 計 (139)	被 用 者	96 (7)	1		6	34 (1)	1		3	5		3 (3)		4	30 (1)	3			6 (2)
	自 営 業 者	22 (2)	1		13				1	2				1					4 (2)
	家 族 従 事	8			2					2				3					1
	そ の 他	13 (7)			2					1				1					9 (7)
団 長 (1)	被 用 者																		
	自 営 業 者																		
	家 族 従 事																		
	そ の 他	1																	1
副 団 長 (2)	被 用 者																		
	自 営 業 者	1			1														
	家 族 従 事																		
	そ の 他	1			1														
分 団 長 (6)	被 用 者	2				1									1				
	自 営 業 者	2			2														
	家 族 従 事	2												2					
	そ の 他																		
副 分 団 長 (6)	被 用 者	5			1	3								1					
	自 営 業 者	1			1														
	家 族 従 事																		
	そ の 他																		
部 長 (13)	被 用 者	10				4			1						5				
	自 営 業 者	2			2														
	家 族 従 事																		
	そ の 他	1 (1)																	1 (1)
班 長 (20)	被 用 者	12			1	4									6	1			
	自 営 業 者	2			1														1
	家 族 従 事	3								1				1					1
	そ の 他	3 (2)								1									2 (2)
団 員 (91)	被 用 者	67 (7)	1		4	22 (1)	1		2	5		3 (3)		3	18 (1)	2			6 (2)
	自 営 業 者	14 (2)	1		6				1	2				1					3 (2)
	家 族 従 事	3			2					1									
	そ の 他	7 (4)			1									1					5 (4)

※ () 内は女性消防団員の数値



キミと一緒に、育っていきたい。

Komaki

消 防 年 報 (第 5 8 号)

発刊・編集 小牧市消防本部 消防総務課

〒 485-0014 小牧市安田町 119 番地
T E L 0568(76)0222 (消防総務課)
F A X 0568(76)0224

発行年月 令和 4 年 6 月